

記者提供資料
2023年(令和5年)11月14日
シティセールス課 天文科学館

天文科学館が日本博物館協会賞を受賞

天文科学館が下記の通り、第4回日本博物館協会賞を受賞しましたのでご報告します。

記

1. 名称 第4回 日本博物館協会賞
2. 表彰団体 公益財団法人 日本博物館協会
3. 表彰目的 博物館の振興に大きく貢献し、他の博物館の模範となる顕著な成果を挙げていると認められる施設の顕彰
4. 過去の受賞館
第一回 北名古屋市歴史民俗資料館(昭和日常博物館) ちひろ美術館(東京・安曇野)
第二回 福井県年縞博物館
第三回 大原美術館
5. 授賞式 第71回 全国博物館大会(2023年11月15日~17日)
会場 千葉市市民センター 開会式にて授賞式
6. 今後の予定
受賞後、受賞の表彰状を館内に掲示します。
また、2024年7月 全国博物館館長会議にてプレゼンテーション、2024年9月末にドブロクニク(クロアチア国)で開催される The Best in Heritage の会合にて日本の博物館協会の受賞館として、プレゼンテーションの推薦がされ、天文科学館の活動を国際的に発表する機会を得ます。

(参考)受賞理由(日本博物館協会より)

- ・ 1960年に開館した科学博物館。日本の標準時子午線東経135度上に位置するユニークな施設である。子午線上に位置する施設は国際的に珍しい。地域に子午線にちなんだ施設もあり、これらの施設との連携も活発である。
- ・ 設立当初のプラネタリウム(ドイツ、カールツァイス社)が現役で稼働しており、我が国において稼働しているプラネタリウムとしては一番古い。
- ・ ドイツ博物館が世界で初めてプラネタリウムを1923年10月に設置、試験公開し、1925年に常設とした。それにちなんで、国際プラネタリウム協会では2023年から2025年にかけてプラネタリウム100周年記念事業を行うこととしており、国際的な発信のタイミングからも、日本博物館協会賞として推薦する。

お問い合わせ:

天文科学館(館長 井上毅、学芸係長 鈴木康史)

TEL 078-919-5000